

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	婦人科手術患者に対する GIP/GLP-1 受容体作動薬の周術期使用の安全性に関する観察研究		
1. 研究の目的と方法	婦人科手術を受ける患者において、肥満や2型糖尿病は高頻度に合併する疾患であり、術後予後に悪影響を及ぼすことが知られています。チルゼパチド（マンジャロ®/ゼップバウンド®）は2型糖尿病に対して適応のある薬剤で、血糖コントロールや体重減少効果が期待されています。チルゼパチドを術前に使用する場合に周術期での血糖コントロールや体重管理への良好な効果も期待されますが、術前使用の実態を調査する必要があります。そのため今回婦人科手術を受けた方を対象とし、術前でのチルゼパチドの使用実態を調査するとともに、チルゼパチドを使用した患者と使用しなかった患者の間に手術成績、術後合併症、血糖および体重の変化等を比較しチルゼパチドの術前使用の安全性を探索的に調査することを目的としています。 本研究は、附属4病院において婦人科手術を施行した患者の診療記録を用いた観察研究であり、新たな検査・採血・問診等はいりません。収集した情報は匿名化した上で解析し、個人が特定される形で公表することはありません。		
2. 研究期間	- 研究実施予定期間：倫理委員会承認日から2034年3月31日まで - 症例登録期間：倫理委員会承認日から2029年3月31日まで - 観察期間：倫理委員会承認日から2034年3月31日まで		
3. 対象となる方等	慈恵医大附属4病院（本院・葛飾医療センター・西部医療センター・柏病院）で、2023年4月1日～2029年3月31日の期間に、婦人科手術を行った18歳以上の方。なお、チルゼパチドを術前に投与されなかった方も非使用群として本研究の対象となります。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	なし	
	(2) 試料の取得の方法	なし。	
	(3) 情報の種類	診断名、性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）、治療情報（薬剤投与、手術内容）等	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。		
	試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座
		氏名	矢内原 臨
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤 千弥	

	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 細谷 聡史
	(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについて	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2026 年 10 月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学 産婦人科学講座 研究責任者：准教授 矢内原 臨（やないはら のぞむ） 窓口担当者：助教 細谷 聡史（ほそや さとし） 電話番号：03-3480-1151 対応時間：平日 9:00 ～ 17:00／休診日を除く	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。